

CORPORATE DEVELOPMENT

山本科学工具研究社の歴史。

それは「硬さばらつきゼロ」、究極の基準片の追求です。

私たちの誇る「硬さ基準片」は、今日、鉄鋼や自動車といった我が国のリーディングインダストリーにはじまり、大学や研究機関に至るまで、工業会のありとあらゆるユーザーに提供され、日常的に幅広く活用されています。

工業製品の安心安全を支える硬さ試験は、非常に厳密なものです。試料の下に髪の毛一本あっただけで、相当の違いが生じるほどの緻密さです。このため、硬さ試験機の測定精度そのものについても狂いがないか、日常的に監視・管理する必要があります。その確認を行うために「硬さ基準片」が使用されているのです。

今を遡ること70年、創業者の山本正一は、本多光太郎博士をはじめ、金属工学の権威の諸先生方のご教導の下、山本科学工具研究社を設立しました。以後、「硬さばらつきゼロの追求」を社是とし、硬さ基準片の精度向上を追究し続けてきました。

そして今日、日本の硬さ基準片は、その信頼度の高さに関して世界一という揺るぎない評価を得るに至っています。私たち山本科学工具研究社の歴史が、日本の硬さ基準片の歴史である、といっても決して言い過ぎではないでしょう。

しかし、私たちは現状に甘んじることなく、さらに技術を昇華させ、「硬さばらつきゼロ」の基準片を追求していきます。

WORKING STAGE

山本科学工具研究社の 硬さ基準片は既に世界ブランド

自他ともに認める品質の高さに加え、国際標準に対するトレーサビリティを確立していることもあり、ヨーロッパやアメリカ、オーストラリア、アジア諸国など世界各国から信頼され、ご愛用頂いています。当社は、国際企業としての自覚の下に、世界各国と技術交流を深め、現地販売店との密接な連携によって販売網を拡充し、一層の事業のグローバル展開を進めていきます。

- 1939年 国産初の硬さ基準片の開発に成功。
- 1952年 千葉県船橋市に世界初の基準片専門メーカーとして(株)山本科学工具研究社を設立。各種硬さ基準片の量産化開始。
- 1962年 ロックウェル硬さ基準片の量産化開始。
- 1965年 ショア硬さ基準片の量産化開始。
- 1967年 山本正一、勲四等瑞宝章受章。
- 1978年 硬さ国際会議において、硬さ基準片の現状について発表。以後、当社製基準片の海外需要が急増。
- 1981年 ビッカース硬さ基準片の JIS 準拠量産化開始。
- 1983年 ブリネル硬さ基準片の JIS 準拠量産化開始。
- 1990年 リープ硬さ用 HLD、HLE 硬さ基準片を開発。
- 1997年 ISO 9000 認証取得。
(米国 NIST SRM:Standard Reference Material に HRC 基準片供給開始)
- 1999年 山本 普、科学技術庁長官賞受賞。
- 2000年 山本 普、勲五等瑞宝章受章。
(米国 NIST SRM に HR15N、30N 基準片供給開始)
- 2006年 ナノインデンテーション用
タングステン単結晶基準片開発 (NIMS ご指導)。
- 2009年 JCSS ロックウェル硬さ標準片 認証取得。以降 2020 年までに、JCSS ビッカース硬さ標準片と JCSS ブリネル硬さ標準片 認証取得。
- 2012年 新社屋竣工。創立 60 周年。
- 2015年 山本 卓、文部科学大臣表彰 科学技術賞、
日本熱処理技術協会協会賞 技術賞 (粉生賞) 受賞。
- 2016年 山本科学工具研究社、日本機械学会関東支部賞 技術賞
受賞。
- 2018年 微小球反発試験機 eNM 用硬さ基準片開発。
- 2020年 山本 卓、日本熱処理技術協会協会賞 貢献賞受賞。

